



SSH通信

第20号

令和5年1月31日 発行
 東京都立富士高等学校
 東京都立富士高等学校附属中学校
 〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
 電話 03-3382-0601
 最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

探究発表会に向けて

探究発表会に向けて各学年で論文やポスターの準備を進めています。富士未来学の課題研究では、データを収集し、分析した結果を根拠に主張します。課題研究に正対して粘り強く取り組んでいる様子を紹介します。

富士未来学Ⅰ

「課題研究（富士山）」中学1学年

中学1学年は富士山をテーマとした課題研究を進めています。探究発表会では、研究課題を設定した理由、分析結果、結論、成果と課題について発表します。データ分析講座Ⅰやプレゼン講座Ⅰで学んだことを活用し、収集したデータから表やグラフを自分で作成しました。右の写真は、ICT端末を活用して、班ごとに発表練習をしている様子です。



富士未来学Ⅱ

「課題研究（国際理解）」中学2学年

中学2学年は国際理解をテーマとした課題研究を進めています。発表練習をする前に、相手の発表をどのように評価するかを考え、自分でルーブリックの評価基準を作成しました。評価基準の作成によって、自らの発表に関するメタ認知を促します。左の写真は、ルーブリックを作成したり、ICT端末を活用してポスターを作成したりしている様子です。



富士未来学Ⅲ

「ゼミ活動」中学3学年

中学3学年はゼミのグループで課題研究を進めています。データ集めが大変だという声も聞こえてきますが、生徒たちは互いに協力し合って粘り強く挑戦していました。データ分析については、富士未来学の授業に加え、数学の授業や課題でも扱っています。右の写真は、ゼミ活動の様子です。



富士未来学Ⅲ

「ゼミ活動」中学3学年 水害対策ゼミ

水害対策ゼミで、「神田川・環状七号線地下調節池」を見学しました。模型やモニター室の説明を聞いたり、地下約40mにあるトンネルの中を歩いたりしました。右の写真は、模型、モニター室、トンネル、取水口を見学している様子です。



富士未来学Ⅳ

「ラボ活動」高校1学年

高校1学年は、4月からの本格的な課題研究の実践に向けて、研究計画の立案に挑戦しています。ラボ内で研究計画立案の進捗状況を報告し、そこで得た助言や意見を基に改善しています。一度設定した仮説でも、研究計画の検討段階や実験の結果によって見直しが必要になることが多いです。研究が進んでいる生徒の中には、計画に基づいて実験や調査に取り組んでいる姿が見られます。左の写真は、教員とやり取りしている様子や課題研究の進捗状況を報告している様子です。



富士未来学Ⅴ

「ラボ活動」高校2学年

高校2学年は、集大成として課題研究の成果を発表します。研究の進捗に応じて、2学期に作成した論文を改善しています。主張の根拠を補うために、新たに実験や調査を行っている姿も見られます。こうして完成した論文を基に、今年度はポスターを、来年度は英語の論文を作成します。ポスターでは、視覚的な伝わりやすさも大事な要素です。正確さを残しつつ簡潔にまとめる力が必要になります。より良いポスターを目標に、試行錯誤しながら挑戦しています。右の写真は、論文やポスターに取り組んでいる様子です。

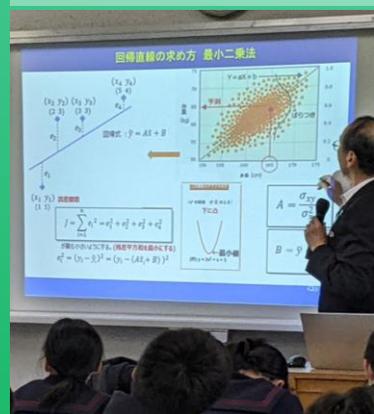


第9回理数セミナー 1月28日(土)

「明日の経営者のためのデータ分析技術<実学のすゝめ>」

作新学院大学経営学部 客員教授 板橋英隆先生

板橋英隆先生に、データ分析の重要性について講義いただきました。本校の課題研究では社会科学や人文科学においても統計的手法を用いた考察に挑戦します。参加した生徒からは「データの集め方の意義を学ぶことができた。今回学んだことを富士未来学でも活かしたい。」や「経営や起業について学ぶことができたのでシリコンバレー研修までに自分のものにしたい。」などの感想が聞かれました。



最小二乗法とは

探究発表会 2月15日(水)

探究発表会では異学年交流が行われます。中高一貫校である富士ならではの取組です。左の写真は、探究発表会の運営に向けた生徒たちの打合せの様子です。

